

報道関係者各位

ご案内

**当事者の現状を社会に届けるために、活動中！**  
**日本生命保険相互会社・東京本部、大阪本店の職員向け**  
**“不妊治療支援セミナー”を開催**  
**～みんなで「知ろう」！～不妊治療の“今”とその支援を学ぼう！**  
 NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、日本で初めて特定不妊治療をサポートする保険(\*1)を発売した日本生命保険相互会社(主催:「みんなのみらい」応援団(\*2)、共催:日本生命労働組合東京本部地区)と共に「不妊治療支援セミナー」を2016年10月19日(水)に開催します。本セミナーは不妊治療の啓発も目的としておりますので、ご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

### **不妊をとりまく背景** 体外受精によって生まれた子どもは約21人に1人

日本では近年、晩婚化・晩産化により不妊に悩むカップルが増え、6組に1組が不妊といわれており、深刻な社会問題となっています。そして2014年、高度生殖医療である体外受精によって生まれた子どもは47,322人(\*3)で、いまや約21人に1人(2013年は約24人に1人)の赤ちゃんが体外受精によって誕生しています。また、不妊治療の高度な治療の大部分は健康保険の適用されない自費診療のため、体外受精を1回受けるには、平均で30万~50万円の費用がかかり(NPO 法人 Fine 調べ(\*4))当事者の経済的負担が大きいのが現状です。公的支援として2004年度からスタートした特定不妊治療費助成制度はありますが、2016年4月以降は制度が見直され(\*5)、初回の助成額の増額や、男性に対する不妊治療の一部が助成の対象になる等の拡充がなされる一方、一部減額や制限などで厳しくなり、治療費が貯まるまで治療を休んだり、治療費を捻出できずに治療を諦めるなど、経済的な問題が治療に影響を与えるケースは少なくありません。

### **不妊治療やその支援を学ぶセミナー** “出産や特定不妊治療をサポート”する業界初の保険

Fine は、これまでの活動で蓄積した不妊の確かな情報と妊娠や不妊に関わるケア事業を一元化した「Fine 妊活プロジェクト(\*6)」に取り組んでおり、本セミナーの講師を務めます。2016年4月1日施行の保険業法施行規則の改正で、不妊治療に係る保険の引受けが解禁されたことにより、日本生命保険相互会社が重い病気等に加え、出産や特定不妊治療に備える保険「ニッセイ出産サポート給付金付3大疾病保障保険“ChouChou!(シュシュ)”(\*1)を発売しました。本セミナーは、その保険を販売するにあたり、日本生命保険相互会社・東京本部、大阪本店の職員の方の「不妊(治療)に関する知識や意識の向上」を目的として開催いたします。セミナーを通じ、会社人として不妊に関してできることや自分自身や周囲の方が不妊治療に関わる可能性があること、自身のライフプランニング、キャリアプランニング、社会的にプレマタニティハラスメント防止が必要なことなどについて考え、日本の不妊を取り巻く環境を改善していくきっかけづくりになるのではと考えています。

#### 【不妊治療支援セミナー開催概要】

日 時：2016年10月19日(水) 18:00~19:30

場 所：日本生命保険相互会社 日本生命丸の内ビル4F NS会議室

住 所：東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル

参加者：日本生命保険相互会社 東京本部および大阪本店職員(リモート中継)

内 容：妊娠・不妊の基礎知識、不妊治療の流れ、仕事と不妊治療の両立について、当事者のニーズなど

講 師：NPO 法人 Fine 理事 野曾原誉枝

定 員：約150名(東京会場・大阪会場計)

主 催：みんなのみらい! 応援団(\*2)

共 催：日本生命労働組合東京本部地区

## 妊活セミナーは、皆が輝く社会へのステップに

幅広い世代に妊娠や不妊についての正しい知識を知っていただくことは、妊娠や出産、子育ては女性だけの問題ではなく、夫婦の問題であると考えきっかけづくりになります。そして、不妊への意識を変えたり、不妊であることを隠さなくても過ごしやすい社会環境整備の一助になったり、さらに若い世代にとっては自らの意思で計画的な出産・育児などのライフプランやキャリアプランにもつながっていくと私たちは考えます。

## プレスの皆様へ：ご案内とお願い

本セミナーは取材が可能です、事前連絡が必要です。

取材は、あらかじめ会場に届け出る必要がありますので、恐れ入りますが取材をお考えの方は、Fine ( finekouhou @j-fine.jp ) に必ずお知らせください。

- \*1 「ニッセイ出産サポート給付金付3大疾病保障保険“ChouChou!”」 <https://www.nissay.co.jp/kojin/shohin/seiho/shussan/>
- \*2 「みんなのみらい! 応援団」とは、お客さま・社会の役に立つために、日本生命職員一人ひとりが、イキイキと働き、自らの成長や自己実現を達成するためのサポートを行う日本生命職員有志による社内団体です。
- \*3 日本産科婦人科学会の生殖補助医療のデータ <http://fa.kyorin.co.jp/jsog/readPDF.php?file=68/9/068092077.pdf>
- \*4 「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」プレスリリース [http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs\\_keizaipart2\\_1304.pdf](http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_keizaipart2_1304.pdf)
- \*5 「特定不妊治療費助成制度」助成対象範囲の一部変更について <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000039733.html>
- \*6 「Fine 妊活プロジェクト」 <http://j-fine.jp/miraiaction/index.html>

## NPO 法人 Fine これまでの活動 (抜粋)

『Fine 祭り』を 2015 年まで 8 年度連続で開催 今年も全国 6 力所で開催中!!

来場者数は、2008 年度 約 500 名、2009 年度 約 550 名、2010 年度 約 150 名、2011 年度 約 600 名、2012 年度 約 400 名、2013 年度 約 450 名、2014 年度 約 360 名、2015 年度 約 270 名。大きなホールでの講演会や全国各地でのおしゃべり会など、毎年趣向を変えて開催しています。

参考：[http://j-fine.jp/activity/event/fine\\_matsuri.html](http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html)

## 不妊に関するさまざまな調査を実施

2010 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施 (回答者数 / 1,111 名)

2012 年「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート」を実施 (回答者数 / 560 名)

2012 年~2013 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施 (回答者数 / 1,993 名)

2014 年~2015 年「仕事と治療の両立についてのアンケート」を実施 (回答者数 / 2,265 名)

結果は Fine ウェブサイト、学会や講演会等で発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

参考：<http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

## その他

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加 (2005 年~現在)

~ Fine 会員は約 1,950 名、さらに SNS も開設! 登録者約 1,700 名 (2016 年 9 月現在) ~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail NPO 法人 Fine 広報窓口: finekouhou@j-fine.jp